海外アカデミック・ディスカッション		
英国母国語教育：文学教育における文化変化について		
青木　敬子		比較社会文化学専攻
期間	2010 年 10 月 6 日～2010 年 10 月 20 日	
場所	英国	
施設	ロンドン大学教育大学院	

内容報告

1. 2009 年からの継続内容

2009 年、英国ロンドン大学教育大学院において教育史専門である、ディヴィッド・クルック博士とのディスカッションでは、今までのキャノンといわれるシェイクスピアやチョーサーをはじめ、主たる英国の伝統的作家が中心であった英文学の教育が、日常を題材に描くような作家へと変化していることを認識した。この点からカリキュラム上の必修文学作品の変化を、教育史学研究の中では、ハイカルチャーからローカルチャーへの変化ととらえていた。例えば中等教育の必修リストに含まれている詩人のシェイマス・ヒーニーはアイルランドの出身で、日常の身近な題材を用いて描いている。教育研究の中でハイカルチャーと考えられていた、エリート教育に用いられるような、歴史の深さも上流階級を題材にしている作家でもない。この点から教育学研究の中では文化的変化と捉えられ、ハイカルチャーからローカルチャーへの移行という認識であった。（註１）しかし今回2010年10月のロンドン大学教育大学院における、ディスカッションでは、教育史専門のクルック博士と、英文学教育専門のハードキャッスル博士とで、教育学、英文学の両方向からディスカッションを行い、その結果、英文学、英語における文化について、ハイカルチャーとローカルチャーという分類ではないという認識へと変わった。

2. 2010 年ディスカッション

20 世紀以前の文学教育は、エリートと大衆とに分かれていたものの、大衆の中でも読み書きができて、文学が好きな人々は、読書会や家庭、または余暇に古典的作品を読んでいた。大衆の多くは公教育を受けていなかったが、文学的知識は読書の中で培われていた。20 世紀以降も読書という点からは、階級に関係なく、伝統作品は親しまれ読まれてきている。どの作品をどの階級が読むということではない。階級によって読まれる作品が異なるのではないことから、作品における階級ということでは、ハイカルチャーに対してのローカルチャーという分類は存在しないと考えられる。ローカルチャーはむしろ大衆文化から生まれた新しい独自の文化である。(2010 年 10 月 14 日ジョン・ハードキャッスル博士のコメントより)

3. まとめ

教育学研究の中では、19 世紀、20 世紀教育体制全体を階級、エリートクラス教育、大衆教育と分けているため、大衆文学と大衆教育との近似によって文学作品教育に対する階級が認識されたと考察される。しかしながら、実際、国民の読書状況と公にされている教育体制とが異なるために、容易に分類、定義できるものではなく、非常に複雑なニュアンスを含むということが今回の意見交

換によって明らかになった。分野の異なる研究者とのディスカッションにより教育史、英語教育研究の間での、新たな知見が生まれたことを、ぜひ論文に反映させたい。

ハードキャッスル博士も継続して、このテーマについて今後の論文指導をしていただけることになった。女性リーダーを今後も育成していくためにアカデミックレベルでの英国研究者との新たな関係を継続して、さらなる人材をおくる役割を担いたいと考える。

また母国語文学教育研究に関して、ハードキャッスル博士の同僚である、ジョン・ヤンデル博士の近年の研究を紹介していただいた（註２）。ヤンデル博士は現在の社会状況の中で、生徒の文化的背景によって文学作品の捉え方に違いがあることを中心に研究している。筆者の博士論文でも今までの学校調査による内容を反映させるために、非常に参考になった。また今回はリーズ北部のプリンスヘンリーグラマースクールへも訪問し、英語クラスや、図書館における読書への取り組みなどを見学し、英語科教員や、副校長と現場におけるディスカッションもあわせて行った。今後の博士論文では、現代英国における文学教育の状況や、文学教育背景を近代までの経緯や、階級、文化的視点でとらえなおし、分析したいと考えている。なお今回の報告は2011年4月発行予定の言語文化教育学会の学会誌へ投稿する予定である。

註

註１：青木敬子. 『大学院教育支援プログラム： 日本学研究の国際的情報伝達スキルの育成・アカデミック・ディスカッション報告書』お茶の水女子大学発行　2009年

註２：Yandell, John.' Class readers: exploring a different view from the bridge', Changing English. Routledge, London. 2006. Vol13, p319-334.

あおき　けいこ／お茶の水女子大学大学院　人間文化研究科　比較社会文化学専攻